

立命館大学アート・リサーチセンター  
 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」  
 2015 年度 共同研究成果報告書〔研究費配分型〕

2016 年 4 月 17 日 提出

1. 研究課題名	
近世近代期京都の地誌・案内記を対象としたデジタルアトラスの構築  (英文標記: Construction of a Digital Atlas of Topographic Documents and Guidebooks in the Early Modern Period and Modern Period of Kyoto )	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
塚本 章宏 (つかもと あきひろ)	徳島大学大学院総合科学研究部・准教授
3. 研究分担者 (合計:      名) ※アート・リサーチセンター所属者は、「ARC 所属教員欄」に○印を付してください	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
矢野 桂司(やの けいじ)	文学部・教授
赤間 亮(あかま りょう)	文学部・教授
金子 貴昭 (かねこ たかあき)	衣笠総合研究機構・准教授
山路 正憲(やまじ まさのり)	衣笠総合研究機構・研究員

4. 研究課題の概要(300 字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点分かるように明記してください)
<p>本研究課題は、近世から近代への移行期の京都における、あらゆる職種に関する人物・住所情報が記載された地誌・案内記類のデジタルアーカイブを進め、産業の立地や集積の地理的分布とその変遷を明らかにするためのデータ基盤の構築を目指すものである。これまでのデジタルアーカイブは、インターネットでの画像公開が主であったが、本研究課題では、地誌・案内記類の画像データベースと、地理情報システム(GIS)の管理・分析機能と連携させることで、オンライン上で主要産業の GIS 地図と原資料を閲覧することができるデジタルアトラスを構築することを目指す。この成果によって、歴史学や地理学といった伝統的な研究分野のみならず、デジタル・ヒューマニティーズの研究基盤、研究事例としても期待される。</p>
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

2015年度は、京都の地誌・案内記類の所蔵数で最大規模の一つである、京都府立総合資料館に所蔵された地誌・案内記類および近代期に出版された絵図について、デジタルアーカイブの成果を公開・整備を進め、インターネット上の画像データベースの閲覧とオンラインマップとの連携させたシステムの構築に取り組んだ。

公開した資料の点数は、2014年度から合わせて約116冊、撮影カット数では約10,000カットを数える。現在、アート・リサーチセンターのサーバーを利用して公開されている「京都地誌データベース」で閲覧が可能である。上記の画像データベース構築・拡張についての作業を進めつつ、それらをインターネット地図から閲覧するための準備を進めた。本研究は、デジタルアトラスの構築を目指しており、様々な時間断面の商工業者・文化人の居住地分布がわかる地図から、人物が掲載されているページの画像データへとリンクさせることが必要である。一部、試験的に画像の詳細画面からオンライン地図へリンクを追加し、一方で、オンラインマップ上で示された京都の主要産業の地点から画像の詳細画面にリンクを追加した。こうした相互のリンクを作成することで、画像データベースとオンラインマップを相互に行き来できるような仕組みを構築した。今後、この仕組みが適用された画像データを増やしていくことが課題として挙げられる。さらに、資料に記載された人物や住所情報のテキスト情報をまとめたファイルを用意することで、半自動的にこの仕組みに追加できるようにしていきたい。

## 6. 研究業績

### (1) 著書

なし

### (2) 論文

・塚本章宏「近世京都における産業立地の時空間的変遷―「諸師諸芸」「諸職名匠」の GIS データベース構築―」、単著、2016年3月、立命館人文学会、立命館文学、647、190-200頁、査読無

### (3) 研究発表等

・塚本章宏「近世近代期京都の地誌・案内記を対象としたデジタルアトラスの構築」、2015年7月25日、文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」国際シンポジウム、立命館大学衣笠キャンパス アート・リサーチセンター、矢野桂司、赤間亮、金子貴昭、山路正憲、査読無

・塚本章宏「近世近代期京都の地誌・案内記を対象としたデジタルアトラスの構築」、2015年7月22-24日、祇園祭デジタルミュージアム展 2015、京都文化博物館別館ホール、京都市、査読無

・塚本章宏「近代京都の地誌・名所案内記類を対象とした画像データベースの構築」、2015年11月14日～15日、人文地理学会、大阪大学、豊中市、査読無

・塚本章宏「近世近代期京都の地誌・案内記を対象としたデジタルアトラスの構築」、立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」2015年度 成果発表会、立命館大学アート・リサーチセンター、2016年02月19日、査読無

・Tsukamoto Akihiro, “The Changes of industrial structure in the Early Modern and Modern Period of Kyoto, Japan :Construction of a Digital Atlas of Topographic Documents and Guidebooks”, May, 30, 2016, Annual Conference of the Association of American Geographers, San Francisco, America, 査読無.

### (4) 主催したシンポジウム・研究会等

なし

### (5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

なし

### (6) 受賞学術賞

なし

### (7) 科学研究費助成事業

・近代移行期の京都における都市構造の変容と表象に関する歴史 GIS 研究、若手研究(B)、2014年4月～2017年3月、代表

・歴史 GIS によるデジタル・ヒューマニティーズの展開、基盤 A(研究代表:矢野桂司)、2016年4月～2020年3月、分担

### (8) 競争的資金等(科研費を除く)

なし

### (9) その他